

**STEP 1**

**a~g**の中から、作るポーチの形を決め、材料を準備する

**abc**は、ポケットの有無についても決める

※ 説明書3面(2枚目・表)  
STEP5「abcの作り方」参照

**STEP 2**

表布に接着芯を貼る

※ **e g**は裏布にも貼る

表布の裏面と接着芯の接着面を合わせ、上から押さえるようにアイロンをあてる。(ドライ・約10秒)

★ 接着芯に霧吹きをすると、熱が伝わりやすく、接着しやすくなります

表布(ウ) 接着面

あて布またはシリコンペーパーかハトロン紙

アイロンは必ず必ず持ち上げ、すき間をあげないように移動させながらあてる。

※アイロンの温度は、布地や接着芯の適正温度に準じて設定してください

● 布目の方向 ●

みみ(布幅の両端)を左右に見て、縦の方向をたて地と言ひ、布目の方向になります。

たて地は伸びにくい性質があるので、布目を通すと、型くずれしにくくなります。

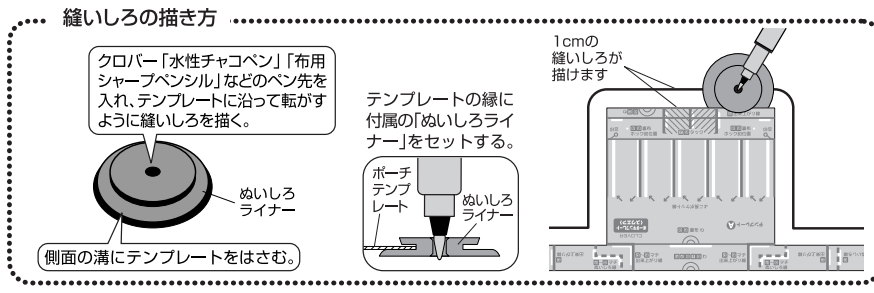
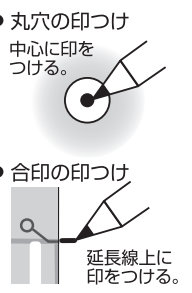
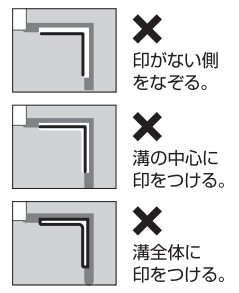
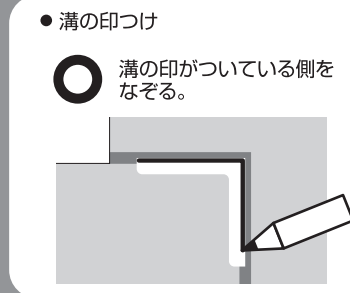
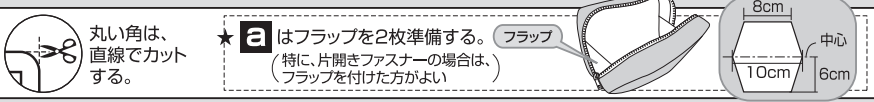
★ 柄生地の場合、見せたい柄の方向に合わせて、布地を裁断してもかまいません

	<b>a</b> フル	<b>b</b> トップ	<b>c</b> ハーフ	<b>d</b> シングル	<b>e</b> ダブル	<b>f</b> タック付シングル	<b>g</b> タック付ダブル
ポーチのカタチ							
	タテ ヨコ マチ 10×16×6cm ※ イラストは両開きファスナーを使用した例	タテ ヨコ マチ 10×16×5cm	タテ ヨコ マチ 10×16×6cm	タテ ヨコ マチ 13×16×5cm パネロも作れます	タテ ヨコ マチ 13×16×5cm	タテ ヨコ マチ 13×11×5cm	タテ ヨコ マチ 13×11×5cm
テンプレートの使用箇所							
型(パターン)							
材	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 表布</li> <li>● 表布用接着芯</li> <li>● 裏布</li> </ul> 各 35×40cm ○ よこ長ポケット 7.5×30cm ○ たて長ポケット 10×23cm ● フラップ 14×12cm 2枚 ● ファスナー 35cm (両開きタイプがおすすめ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 表布</li> <li>● 表布用接着芯</li> <li>● 裏布</li> </ul> 各 33×40cm ○ よこ長ポケット 7.5×30cm ● ファスナー 15cm	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 表布</li> <li>● 表布用接着芯</li> <li>● 裏布</li> </ul> 各 35×30cm ○ よこ長ポケット 7.5×30cm ○ たて長ポケット 10×23cm ● ファスナー 25cm	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 表布</li> <li>● 表布用接着芯</li> <li>● 裏布</li> </ul> 各 35×20cm ● ファスナー 15cm または パネロ 12cm (10~13cm使用可)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 表布</li> <li>● 表布用接着芯</li> <li>● 裏布</li> </ul> 各 35×20cm ● 裏布用接着芯 各 30×20cm ● ファスナー 15cm 2本 ● ホック釦 2組	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 表布</li> <li>● 表布用接着芯</li> <li>● 裏布</li> </ul> 各 35×20cm ● 裏布用接着芯 各 30×20cm ● ファスナー 10cm 2本 ● ホック釦 2組	
料							
	※ポケットは省略	※ポケットは省略	※ポケットは省略				

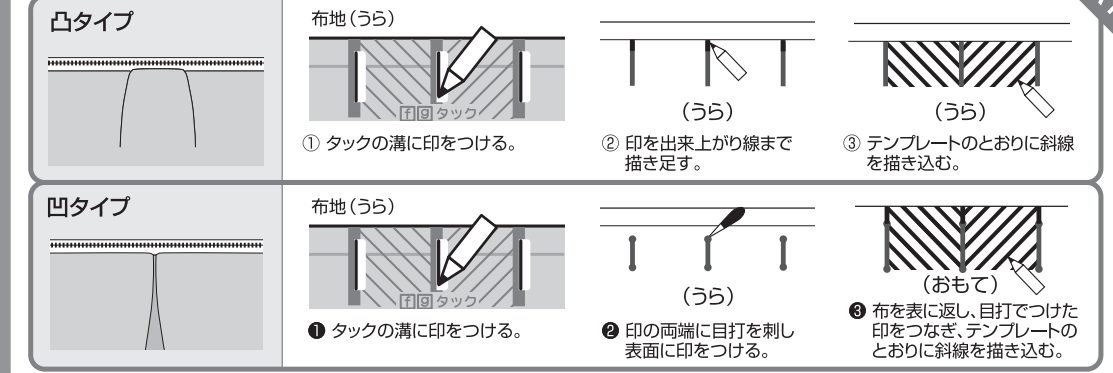
※布地の用尺には実際に使用する大きさの四方に1cmの余尺を設けています。

**STEP 3** 選んだポーチの「テンプレートの使用箇所」に沿って印つけをする

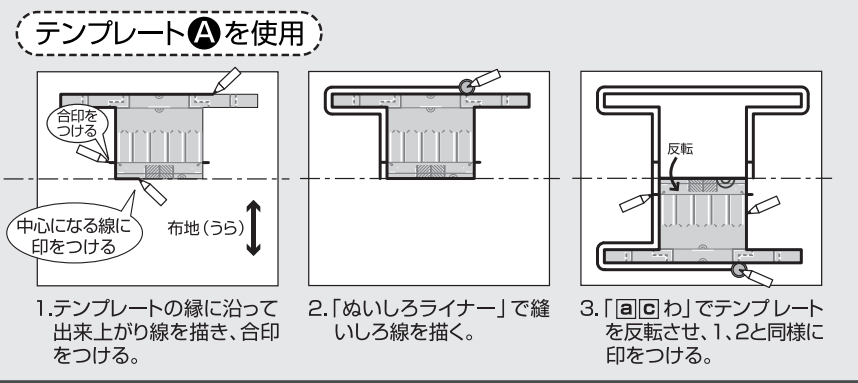
**STEP 4** 縫いしろ線に沿って布地を裁断する



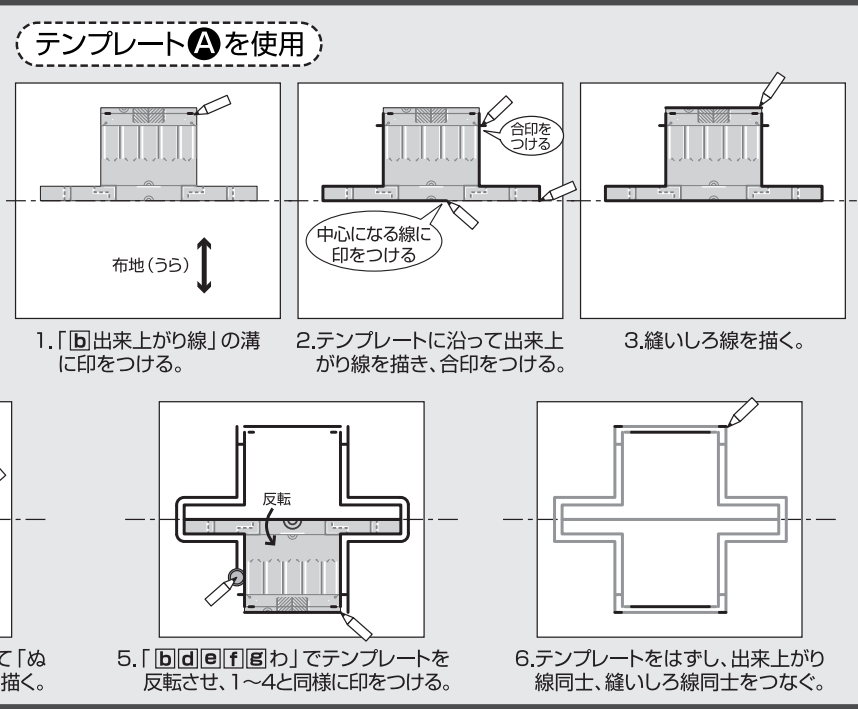
**タックの印の描き方** (お好みで凸・凹どちらかのタイプを選んでください ※f/g裏布は凹タイプでつくります)  
 ★タックの印を、布の表面・裏面どちらに描くかで、仕上がりのタックの形が変わります



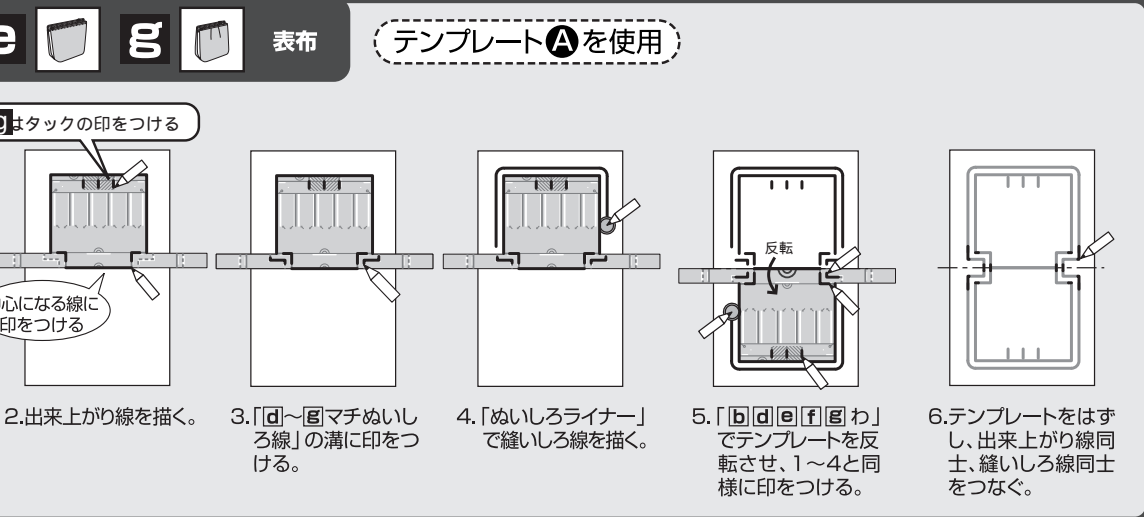
**a** 表布・裏布



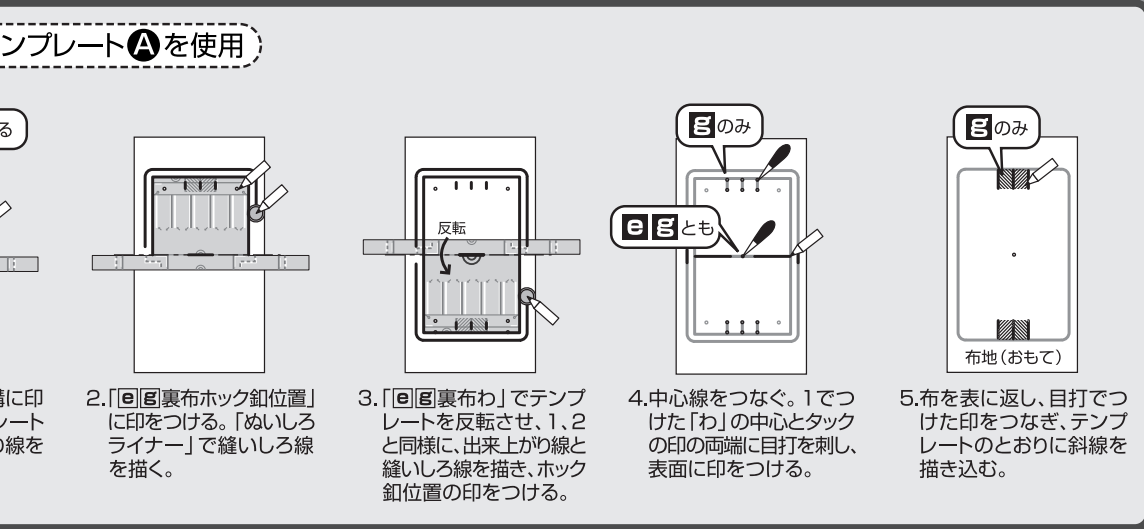
**b** 表布・裏布



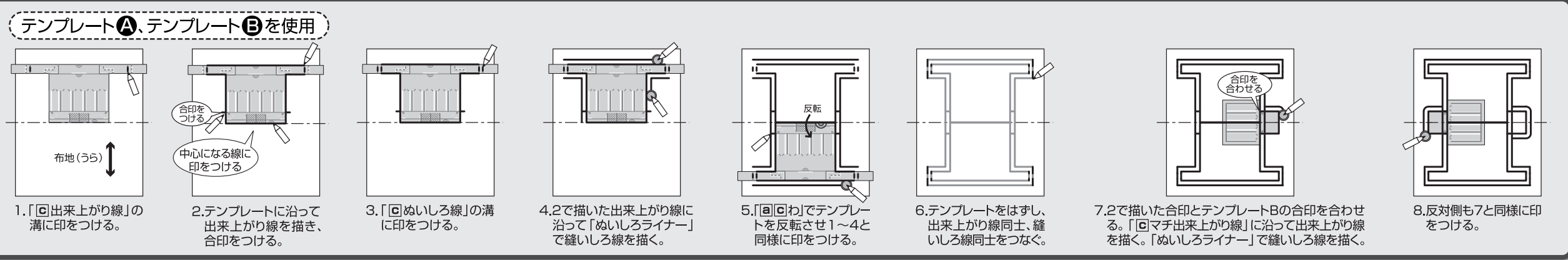
**d f** 表布・裏布



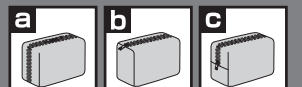
**e g** 裏布



**c** 表布・裏布



STEP 5



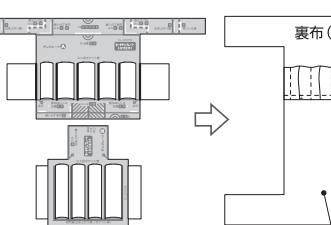
の作り方

★縫い始めと縫い終わりは、返し縫いをしてください

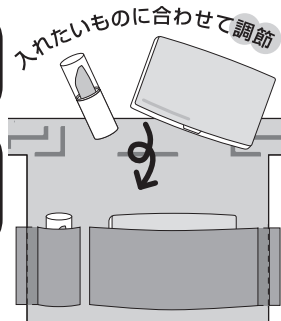
ポケットを付ける場合

ポケットを付けない場合

1. ポケットを作る

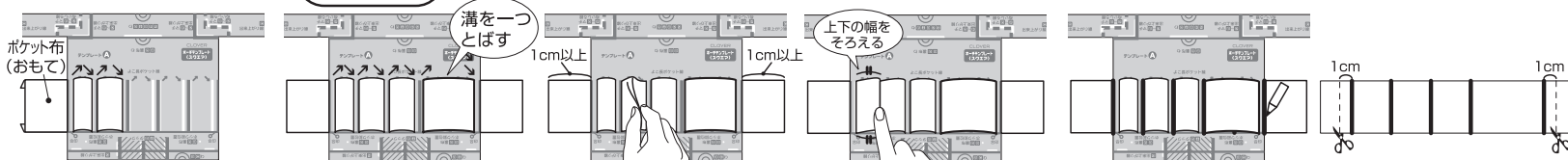


<b>よこ長ポケット</b> a b c に付ける事ができます。	ポケット布の準備 7.5 cm	30cm 7.5cm×30cmの布を用意し上下1cmをアイロンで折る。	ポケット布(うら) 7.5cm×30cmの布を用意し上下1cmをアイロンで折る。
<b>たて長ポケット</b> a c に付ける事ができます。	ポケット布の準備 10 cm	23cm 10cm×23cmの布を用意し上下1cmをアイロンで折る。	ポケット布(うら) 10cm×23cmの布を用意し上下1cmをアイロンで折る。



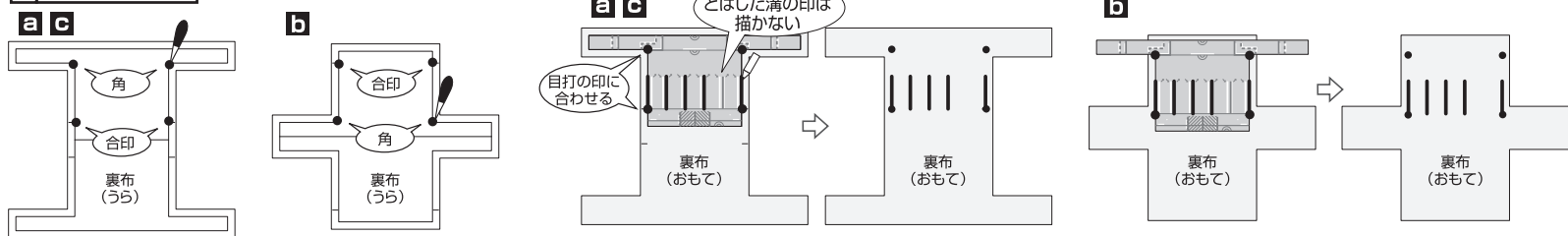
よこ長ポケットの作り方

1 ポケット布に印をつける



- ① テンプレートAの「よこ長ポケット線」の左端の溝の下からポケット布を出し、作りたいポケットの幅に合わせて下向き矢印の溝に入れる。
- ② 作りたいポケットの数だけ、ポケット布を上向き矢印の溝から出し、下向き矢印の溝に入れる作業を繰り返す。最後は右端の溝に入れる。
- ③ 入れたいものの大きさに合わせてたわみを作る。布の両端は縫いしろ分として1cm以上残しておく。
- ④ ポケットの大きさを決めたら、たわみを右に向けて倒し、上下が同じ幅になるよう整える。
- ⑤ 「よこ長ポケット線」に沿ってポケット線を描く。
- ⑥ ポケット布をテンプレートから抜き、両端をポケット線から1cmのところまで裁断する。

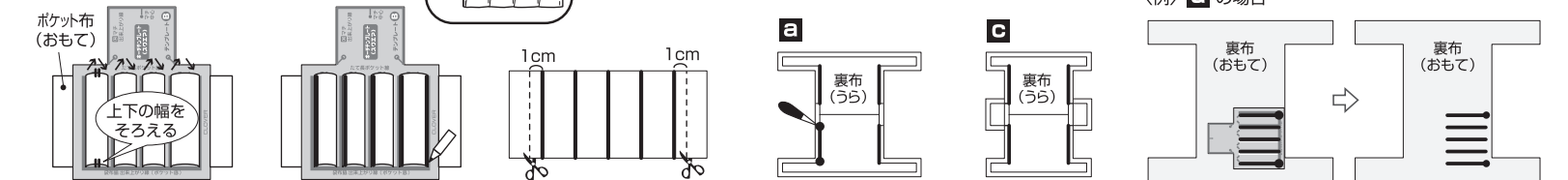
2 裏布に印をつける



- ① 合印2箇所と角に目打を刺し、裏布の表面に印をつける。
- ② 裏布を表返し、目打でつけた印にテンプレートAの合印と角を合わせて置く。ポケット布につけた線と同じ位置のポケット線を、裏布の表面に描く。

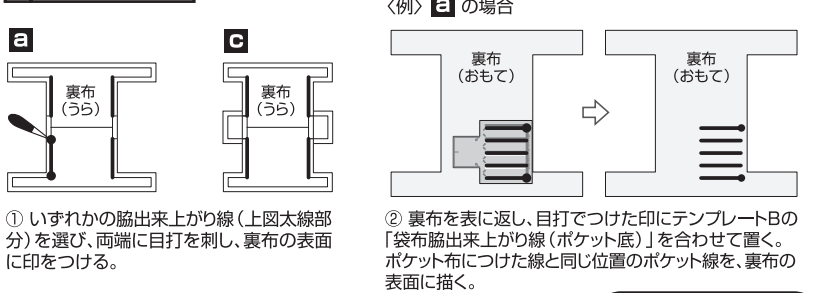
たて長ポケットの作り方

1 ポケット布に印をつける



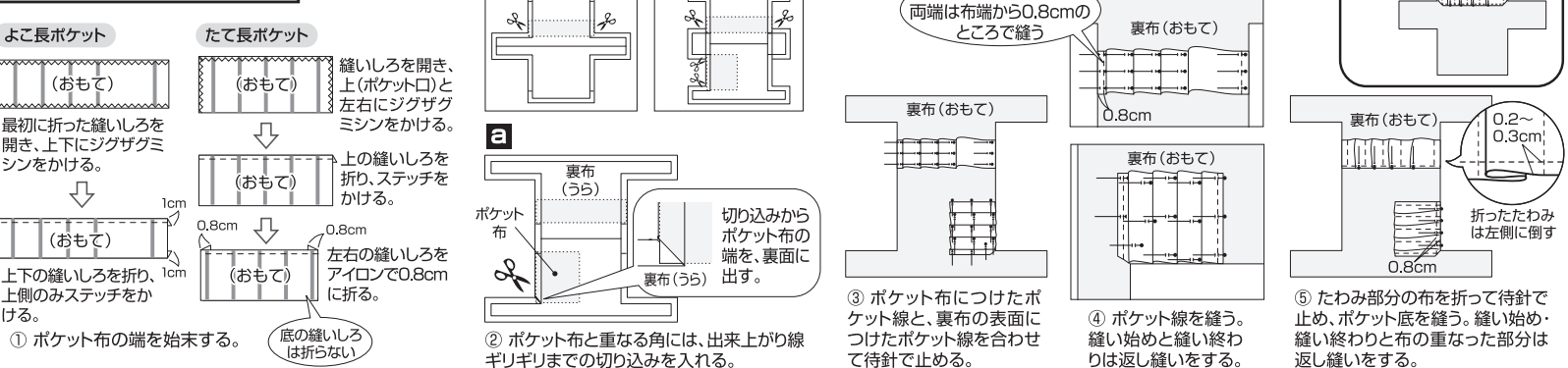
- ① テンプレートBの「たて長ポケット線」の溝に、よこ長ポケットの①～④と同じ手順でポケット布を通す。
- ② 「たて長ポケット線」の印がある溝に沿って、端から端まで線を描く。
- ③ ポケット布をテンプレートから抜き、両端をポケット線から1cmのところまで裁断する。

2 裏布に印をつける

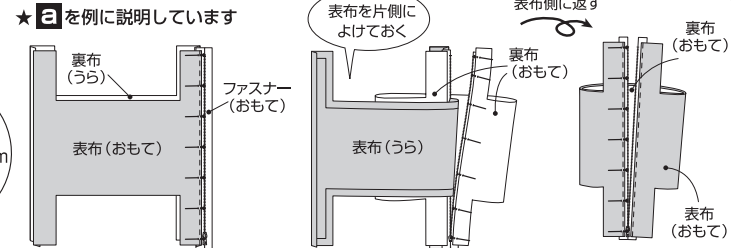


- ① いずれかの脇の出来上がり線(上図太線部分)を選び、両端に目打を刺し、裏布の表面に印をつける。
- ② 裏布を表返し、目打でつけた印にテンプレートBの「袋布脇出来上がり線(ポケット底)」を合わせて置く。ポケット布につけた線と同じ位置のポケット線を、裏布の表面に描く。

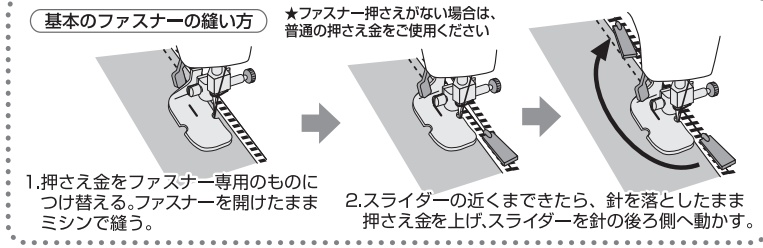
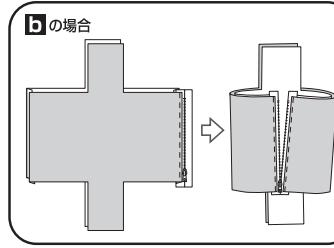
裏布とポケット布の縫い付け方



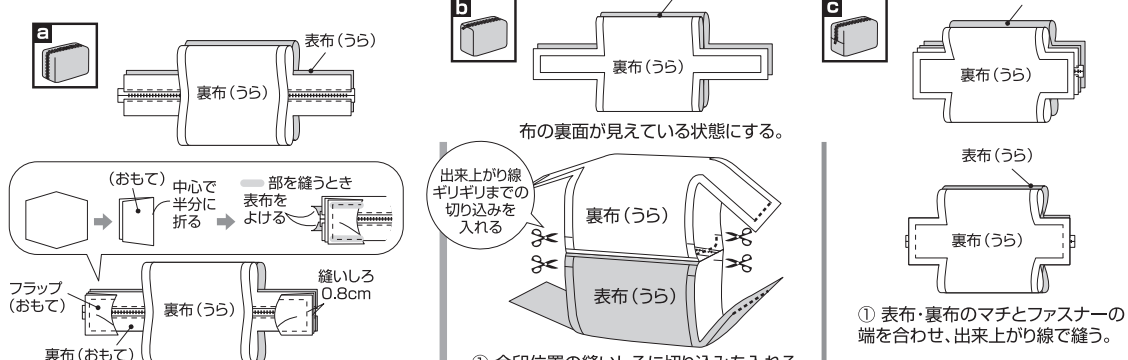
2. マチにファスナーを付ける



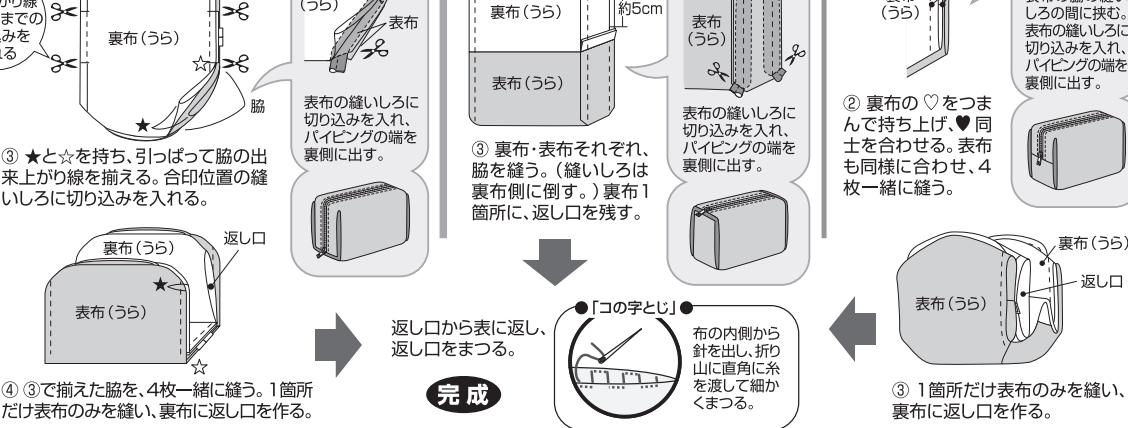
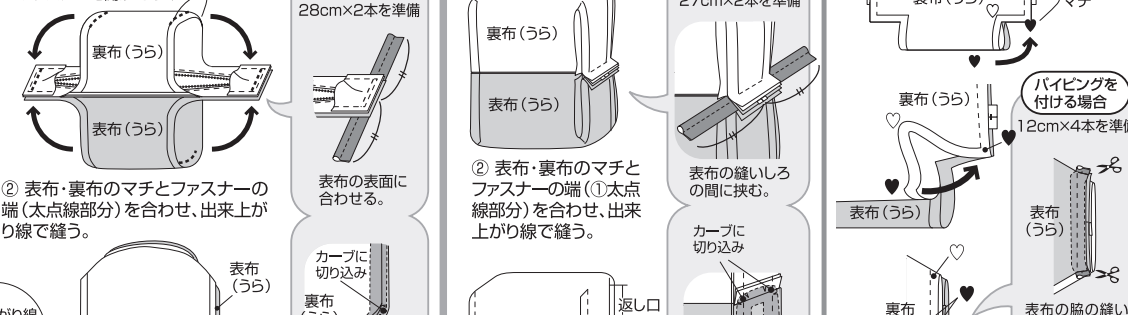
- ① 表布・裏布とも、袋口の縫いしろをアイロンを使い出来上がり線で裏側に折る。裏布をファスナーの裏面に合わせ、縫う。(折り山をファスナーの中心から0.5cmの位置に合わせる。)
- ② 表布をファスナーの表面に合わせ、表布・ファスナー・裏布を縫う。(折り山をファスナーの中心から0.5cmの位置に合わせる。)
- ③ もう一方の裏布の袋口とファスナーを、①と同様に合わせる。ファスナーを開けて縫う。
- ④ 表に返し、もう一方の表布の袋口とファスナーを、②と同様に合わせる。ファスナーを開けて縫う。



3. 表布・裏布を縫い合わせる



- ① 裏布の表面にフラップを付ける。(布端から約0.8cmのところまで縫う。)
- ② 表布・裏布のマチとファスナーの端(太点線部分)を合わせ、出来上がり線で縫う。
- ③ ★と☆を持ち、引っぱって脇の出来上がり線を揃える。合印位置の縫いしろに切り込みを入れる。



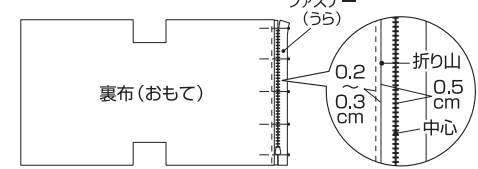
- ④ ③で揃えた脇を、4枚一緒に縫う。1箇所だけ表布のみを縫い、裏布に返し口を作る。
- ⑤ たわみ部分の布を折って待針で止め、ポケット底を縫う。縫い始め・縫い終わりと布の重なった部分は返し縫いをする。
- ⑥ 返し口から表に返し、返し口をまつ。
- ⑦ 「コの字」とし、布の内側から針を出し、折の山に直角に糸を渡して細くまつ。
- ⑧ 1箇所だけ表布のみを縫い、裏布に返し口を作る。

STEP 5 **d** **f** の作り方  
★縫い始めと縫い終わりは、返し縫いをしてください

1. 表布・裏布にファスナーを付ける

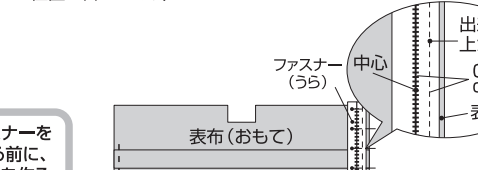
\*説明書3面(裏面)右上「基本のファスナーの縫い方」も参照

表布の袋口にステッチがある縫い方です

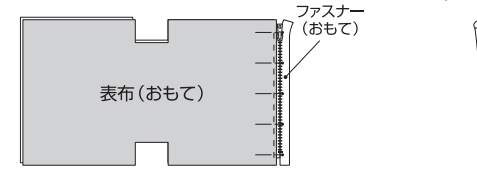


① 表布・裏布とも袋口の縫いしろを、アイロンを使い出来上がり線で裏側に折る。裏布をファスナーの裏面に合わせ、縫う。(折り山をファスナーの中心から0.5cmの位置に合わせる。)

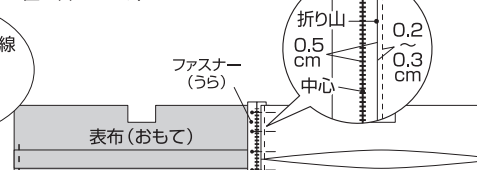
表布の袋口にステッチがない縫い方です



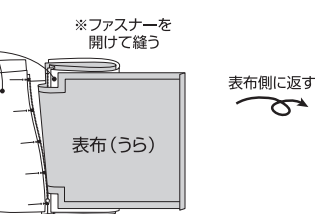
① 表布とファスナーを中表に合わせ、縫う。(出来上がり線をファスナーの中心から0.5cmの位置に合わせる。)



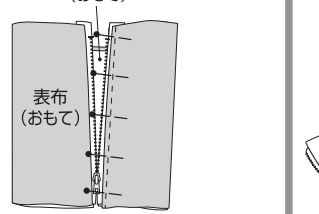
② ①と表布を外表に合わせ、表布・ファスナー・裏布を縫う。(折り山をファスナー中心から0.5cmの位置に合わせる。)



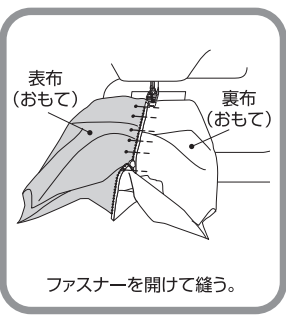
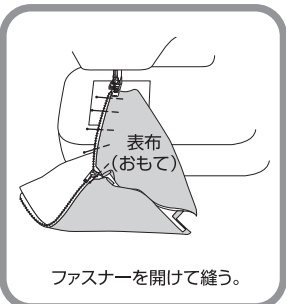
② 裏布の袋口の縫いしろを、アイロンを使い出来上がり線で裏側に折る。裏布をファスナーの裏面に合わせ、裏布とファスナーを縫う。(折り山をファスナーの中心から0.5cmの位置に合わせる。)



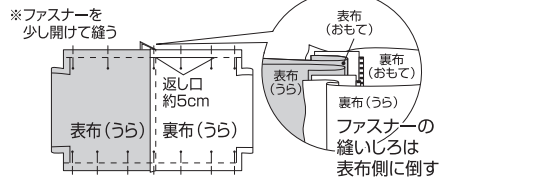
③ 裏布のもう一方の袋口を①と同様にファスナーに合わせ、縫う。



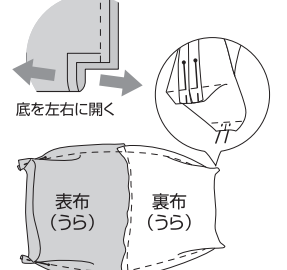
④ 表布のもう一方の袋口を②と同様にファスナーに合わせ、縫う。



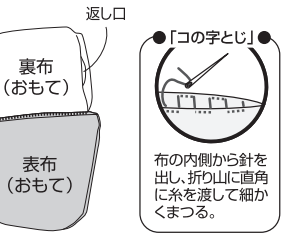
2. 脇とマチを縫う ★**d**を例に説明しています



① 中表の状態にし、脇を縫う。裏布に返し口を残しておく。



② 表布・裏布ともマチを縫う。

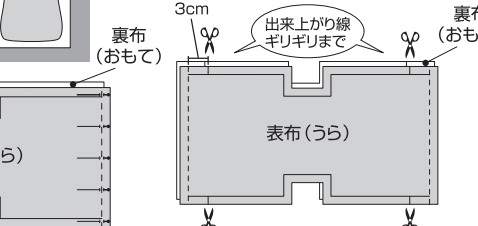


③ 返し口から表に返し、返し口をまつて閉じる。裏布を表布の中に入れる。

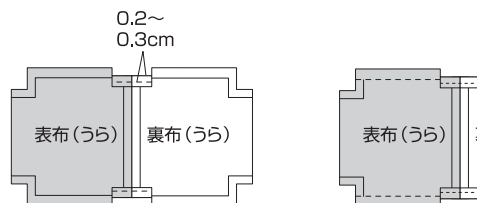
完成

「コの字とし」  
布の内側から針を出し、折り山に直角に糸を渡して細かくまつ。

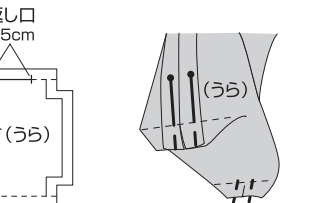
**d** の応用  
バネ口ポーチ



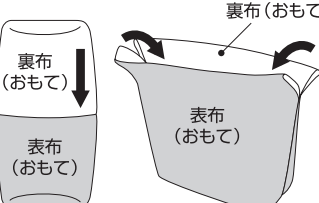
① 表布と裏布を中表に合わせ、袋口の出来上がり線を縫う。



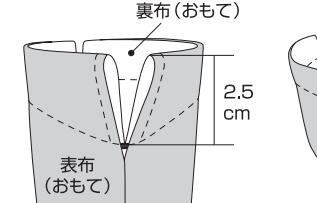
② 袋口の出来上がり線から3cm下がった位置の縫いしろに、切り込みを入れる。



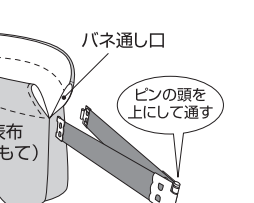
③ 袋口が中心になるように、表布同士、裏布同士を中表に合わせる。切り込みを入れた部分を内側に折り、ステッチで押さえる。



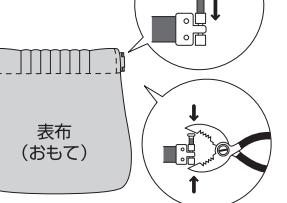
④ 返し口を残し、脇を縫い合わせる。



⑤ 表布・裏布ともマチを縫う。



⑥ 返し口から表に返し、返し口をまつて閉じる。裏布を表布の中に入れる。



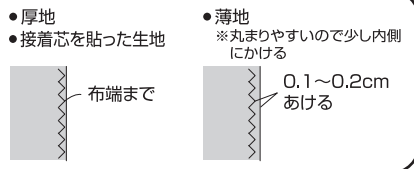
⑦ 袋口の折り山から2.5cm下がったところを、ぐるりと一周縫い、バネ通し口を作る。

完成

バネ通し口  
ピンの頭を上にして通す

STEP 5 **e** **g** の作り方  
★縫い始めと縫い終わりは、返し縫いをしてください

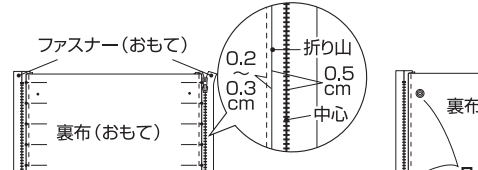
1. 表布・裏布とも、縫いしろにジグザグミシンをかける



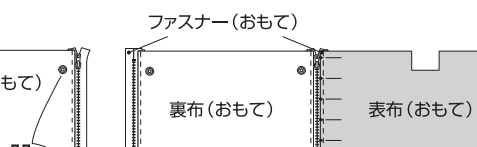
2. 表布・裏布にファスナーを付ける

\*説明書3面(裏面)右上「基本のファスナーの縫い方」も参照

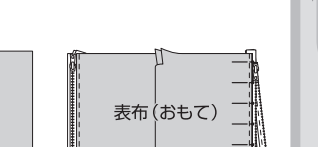
表布の袋口にステッチがある縫い方です



① 表布・裏布とも袋口の縫いしろを、アイロンを使い出来上がり線で裏側に折る。裏布をファスナーの裏面に合わせ、縫う。(折り山をファスナーの中心から0.5cmの位置に合わせる。)

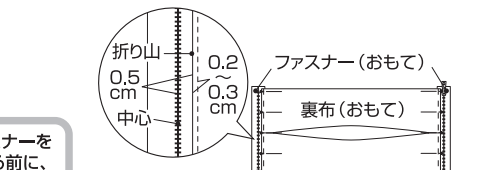


② 裏布のフック位置に、フックを付ける。

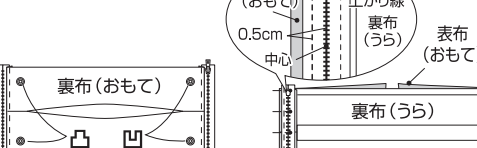


③ 表布をファスナーの表面に合わせ、縫う。(折り山をファスナーの中心から0.5cmの位置に合わせる。)

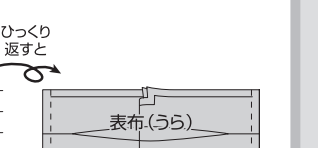
表布の袋口にステッチがない縫い方です



① 裏布の袋口の縫いしろを、アイロンを使い出来上がり線で裏側に折る。裏布をファスナーの裏面に合わせ、縫う。(折り山をファスナーの中心から0.5cmの位置に合わせる。)



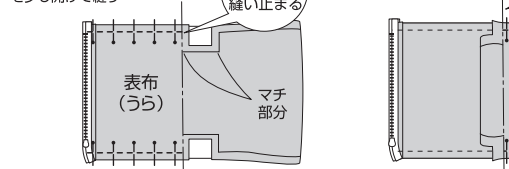
② 裏布のフック位置に、フックを付ける。



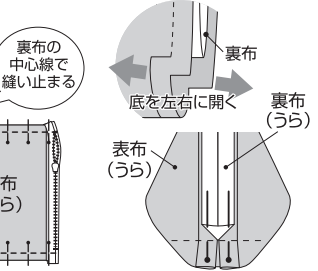
③ ②と表布を中表に合わせ、縫う。(出来上がり線をファスナーの中心から0.5cmの位置に合わせる。)

3. 脇とマチを縫う ★**e**を例に説明しています

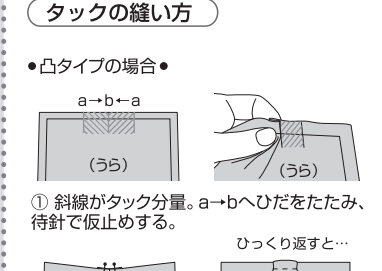
\*どちらかのファスナーを少し開けて縫う



① 中表の状態にし、マチ部分を残して脇を縫う。

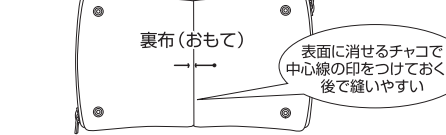


② 反対側も同様に縫う。

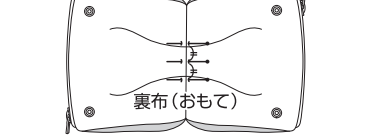


③ マチを縫う。

4. 中心を縫う ★**e**を例に説明しています



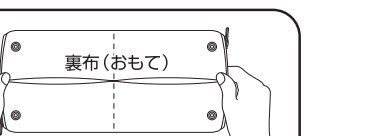
① ファスナー口から表に返す。「**e**裏布」(目打をつけておいた印)を表布・裏布一緒に待針で止める。



② 裏布のたわみでタックを作る。中心からの位置が均等になるようにタックをたたみ、待針で止める。



③ 中心線を縫う。

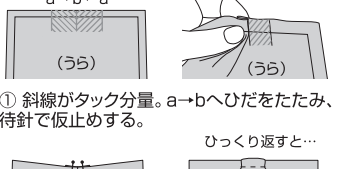


④ 両端を引っ張ってタックを整え、中心線を縫う。

完成

タックの縫い方

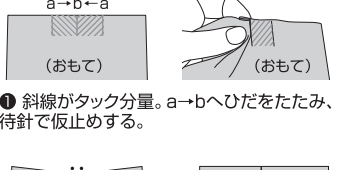
●凸タイプの場合●



① 斜線がタック分量。a→bへひだをたたみ、待針で仮止めする。

② 布端から0.8cmのところを縫う。

●凹タイプの場合●



① 斜線がタック分量。a→bへひだをたたみ、待針で仮止めする。

② 布端から0.8cmのところを縫う。